

第 18 回リーディングセミナー オーガナイザー報告書

氏名・学年	石井 千尋・博士課程 3 年（獣医、毒性学教室）
開催日時/場所	2016 年 10 月 5 日 16:30~ / 獣医学研究科講義棟 講堂
参加人数	学生 68 人、その他 15 人、計 83 人



講演タイトル	Elephant conservation and challenges of captive management
講演者名	Dr. Noha Abou-Madi
職名/所属/国	Associate Clinical Professor, Dept. of Clinical Sciences, College of Veterinary Medicine, Cornell University, USA

招聘経緯・理由等	招聘理由 - Noha 先生は、コーネル大学野生動物センターで野生動物の診療を行いながら、動物園獣医師として保全に取り組んでいる。日本国内では野生動物保全・救護への取り組みが立ち遅れており、他国での例を紹介したかったため。 - 種を問わず、哺乳類・鳥類から爬虫類まで幅広く扱っており、今回の講演内容であった象も含めて日本では学べる機会が少ないため、多くの学生にとって新しい知見となるのではと考えたため。 招聘にあたって 招聘メールを送った際には全く面識がなかったが、翌日には快諾の返事を頂けた。その後の日程調整やセミナーに関する連絡も、滞りなく進めることができた。
セミナー、質疑応答について	セミナー内容 象の保全・研究をテーマに講演頂いた。 セミナーは 3 部構成であり、第 1 部は象を取り巻く現状と保全について、第 2 部は解剖学的知見、第 3 部では象の死因の多くを占めるヘルペスウイルス感染症 (EEHV: Elephant Endotheliotropic Herpesvirus) に関する内容だった。 当日のプログラム進行 オーガナイザーによる紹介 (2、3 分)、 講演 75 分、質疑応答 12 分 質疑応答 保全・繁殖・感染症等、幅広い分野から活発な質問が行われた。(留学生 4 人、日本人 2 人)
セミナー外の活動	・ 歓迎会・交流会 ・ 研究室メインでのミニシンポジウム、研究室紹介 ・ 北大動物病院・博物館・植物園の案内 ・ 小樽観光、浴衣で茶道体験
反省点・感想等	反省点 セミナーは予定通りに進行し (全 90 分)、講演は象に関する幅広い知見を基礎から説明していただいたため、初めての人にも分かりやすい内容であった。同じ所要時間であった前回同様、学生からセミナー時間がやや長いという意見があった。講演時間自体は削らないほうが良いと思うので、途中で 10 分休憩を入れる、など今後は少しプログラムを変更したほうが良いかもしれない。 セミナー運営を経験して 皆様のお力添えのおかげで今回のセミナーを無事終えることができた。このような講演のオーガナイザーを務めたのは初めてで戸惑うことも多かったが、自分自身にも大変良い経験になった。ご講演頂いた Noha 先生、そして多くのサポートを頂いた、楨さんを始めリーディングオフィスの皆様、委員の先生方・学生、Mike 先生、毒性学教室の皆様がこの場を借りて心より御礼申し上げたい。

